

第 19 期事業報告書

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人札幌 VO

1. 事業の実施方針

- ※子ども・青年の社会参加や労働体験の機会を作り地域社会との連携を図ってゆく。
- ※音楽による人づくり・まちづくり、フェアトレードを推進する。
- ※安定経営に向けた事業を構築する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

●社会貢献事業

【フリースクール】①戦う！あしたや

【スタッフ・ボランティア体制】常勤 1 名・非常勤 5 名

【目標】 物販活動でプログラムに必要な経費を自分たちで捻出しながらプログラムを進めて行く。
フェアトレードに力を入れて販売してゆく。

- 【活動】 ① 青年らの自主的活動を支援する。
② 札幌市の施設、地域との協力関係を大事にしてゆく。

事業報告

① 販売実習

フェアトレード商品を販売実習として使用している「戦う！あしたや」は本年度も区民センターを中心にイベント等、年 200 日間フェアトレードを紹介、販売しました。
未来都市札幌、フェアトレードタウン札幌に相応しい活動となりました。

また白石区複合庁舎（2016 年 9 月完成）白石区役所イベント広場で青年 2 名による月平均 2 回行う「フェアトレード&紙工作ワークショップ」も 3 年目を迎え青年らの自主的なプログラムとして定着しました。

② 地域の祭り、イベントに参加

5 月のさくら祭り（本郷通商店街）、6 月のフェアトレードフェスタ（大通り公園）、7 月の白石ふるさと祭り（川下公園）、8 月のフェアトレードマーケット（白石区役所イベント広場）、環境広場さっぽろ 2019（札幌ドーム）JICA 世界ふれあい広場（JICA 札幌）、万蔵祭（本郷通商店街）、9 月のやわらぎマルシェ（やわらぎ斎場厚別西）、難病連バザー（白石区役所イベント広場）、しみサポマルシェ（エルプラザ）、

11月の厚別区民センター文化祭、12月のマチなかNPO（チカホ北3条広場）、国際協力フェスタ（チカホ北3条広場）

③ 2月よりコロナウイルスの影響で徐々に販売に影響が出始め3月から北海道の緊急事態宣言で3月は1ヶ月間フェアトレード販売実習を行うことが出来ませんでした。

④ 支援活動

現在、小樽の引きこもり支援事業のカードと「だがしやプロジェクト」の紙工作キットを販売しています。人気商品として定着しています。

●文化・芸術の振興事業

【目標】 音楽等を通して地域社会を活性化するよう活動する。
小学生から大人まで幅広い年齢層が参加できる環境づくりをする。

【活動】 地域の祭り、イベント等での繋がりを大事にし、ライブ活動を行う。

事業報告

誰でも参加型ライブイベント「元気玉ライブ」は月に1回白石区民センターを中心に行いました。

（3月はコロナウイルスの影響でお休みとなりました）。年齢性別障害の有無を問わず音楽で元気と仲間作りを目標に行い今年度も多くの方が参加しました。音楽を楽しむ個性的集団として今年も元気に活動しました。みんなで準備、後片付けが基本です。特に毎回コーディネートをするト部氏、機材を提供してくれる後藤氏が大きな力となっています。

●地域文化振興とまちづくり事業

【目標】 VO-lunch 新聞の発行で地域との連携を図る。

【目標】 ① 地域のニュースやイベント、VOの活動の様子などを中心に作成。
町内会、商店街、物販等で配布する。

事業報告

VO-lunch 新聞は月1回、地域へVOの活動を発信する媒体となっています。物販、ライブなどの予定、更にイベント参加やライブニュースなど町内会、商店街を中心に配布しています。

●その他の事業 なし